

I

$AB=2x+2, BC=3x-2, CA=5$

(1) 三角形の成立条件より,

$$\begin{cases} (2x+2)+(3x-2)>5, \\ 5+(2x+2)>3x-2, \\ (3x-2)+5>2x+2 \end{cases}$$

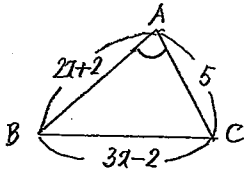
すなわち,

$$\begin{cases} x>1, \\ 9>x, \\ x>-1 \end{cases}$$

となるから、 x のとり得る値の範囲は

$1 < x < 9$ (答)

(2)



余弦定理より,

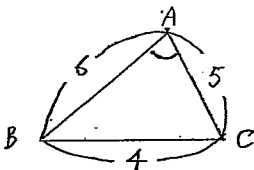
$$\begin{aligned} \cos A &= \frac{(2x+2)^2 + 5^2 - (3x-2)^2}{2(2x+2) \cdot 5} \\ &= \frac{-5(x+1)(x-5)}{4 \cdot 5(x+1)} \\ &= \frac{5-x}{4} \end{aligned}$$

であるから、 $\cos A = \frac{3}{4}$ のとき,

$$\begin{aligned} \frac{5-x}{4} &= \frac{3}{4} \\ x &= 2. \quad \dots (答) \end{aligned}$$

(これは $1 < x < 9$ を満たしている.)

(3) $\cos A = \frac{3}{4}$ のとき、(2)の結果より次図を得る。



$0 < A < \pi$ より、 $\sin A > 0$ であるから

$$\begin{aligned} \sin A &= \sqrt{1 - \cos^2 A} \\ &= \sqrt{1 - \left(\frac{3}{4}\right)^2} \\ &= \frac{\sqrt{7}}{4}. \end{aligned}$$

$\triangle ABC$ の外接円の半径を R とすると、正弦定理より、

$$2R = \frac{BC}{\sin A}$$

であるから、

$$\begin{aligned} R &= \frac{BC}{2 \sin A} \\ &= \frac{4}{2 \cdot \frac{\sqrt{7}}{4}} \\ &= \frac{8}{\sqrt{7}} = \frac{8\sqrt{7}}{7}. \quad \dots (答) \end{aligned}$$

$\triangle ABC$ の内接円の半径を r とし、 $\triangle ABC$ の面積に注目すると、

$$\begin{aligned} \frac{1}{2} r (4+5+6) &= \frac{1}{2} \cdot 6 \cdot 5 \sin A \\ 15r &= 30 \cdot \frac{\sqrt{7}}{4} \\ r &= \frac{\sqrt{7}}{2}. \quad \dots (答) \end{aligned}$$

(注) (1)において $2x+2 > 0, 3x-2 > 0$ かつ

省略できる理由は

$$\begin{cases} (2x+2)+(3x-2)>5, \\ 5+(2x+2)>3x-2, \\ (3x-2)+5>2x+2 \end{cases}$$

$$\Leftrightarrow \begin{aligned} (2x+2)+5 &> 3x-2 && | (2x+2)-5 | \\ (3x-2)+5 &> 2x+2 && | (3x-2)-5 | \end{aligned}$$

であるから、波線部分のところが $2x+2 > 0,$

$3x-2 > 0$ を満たす x も考えているからである。

II

$$\begin{aligned} z &= a(2 + \sqrt{3}i)^3 + b(2 + \sqrt{3}i)^2 + 49 \\ &= a(8 + 12\sqrt{3}i - 18 - 3\sqrt{3}i) + b(4 + 4\sqrt{3}i - 3) \\ &\quad + 49 \\ &= (-10a + b + 49) + (9a + 4b)\sqrt{3}i. \end{aligned}$$

よって、 z の実部は $\boxed{-10a + b + 49}$ ^①、虚部は $\sqrt{3}(\boxed{9a + 4b})$ ^②。

$z = 0$ となる条件は

$$\begin{cases} -10a + b + 49 = 0 \\ 9a + 4b = 0 \end{cases}$$

であるから、 $z = 0$ となる a, b の値は

$$(a, b) = \boxed{(4, -9)} \quad \text{③}$$

このとき

$$\begin{aligned} ax^3 + bx^2 + 49 &= 4x^3 - 9x^2 + 49 \\ &= 4x^3 - 9x^2 + 49 \\ &= (4x + \boxed{7})(x^2 - 4x + 7) \quad \text{④} \end{aligned}$$

と因数分解できる。

$$(P(x) = x^2 - 4x + 7)$$

$$\begin{aligned} Q(x) &= x^5 - 4x^4 + 7x^3 + x^2 - 2x + 8 \\ &= (x^2 - 4x + 7)(x^3 + 1) + 2x + 1 \\ &= (P(x)(x^3 + 1) + 2x + 1) \end{aligned}$$

であるから、整式 $Q(x)$ を整式 $P(x)$ で割ったときの

商は $\boxed{x^3 + 1}$ ^⑤、余りは $\boxed{2x + 1}$ ^⑥。

さらに、 $P(2 + \sqrt{3}i) = 0$ であるから

$$\begin{aligned} Q(2 + \sqrt{3}i) &= P(2 + \sqrt{3}i)\{(2 + \sqrt{3}i)^3 + 1\} \\ &\quad + 2(2 + \sqrt{3}i) + 1 \\ &= 0 + (5 + 2\sqrt{3}i) \\ &= \boxed{5 + 2\sqrt{3}i} \quad \text{⑦} \end{aligned}$$

III

$$C_1: y = x^2 + px + q$$

$$C_2: y = 1 - x^2$$

- (1) C_1 の頂点の x 座標を t とするとき、条件より
この頂点は直線 $y = x$ 上にあるから、 C_1 の方程式は

$$\begin{aligned} y &= (x-t)^2 + t \\ &= x^2 - 2tx + t^2 + t \end{aligned}$$

と表せる。よって、係数を比較して

$$p = \boxed{-2t}, \quad q = \boxed{t^2 + t}$$

- (2) C_1 と C_2 が異なる 2 つの共有点をもつ条件は、 x の方程式

$$x^2 - 2tx + t^2 + t = 1 - x^2$$

すなわち

$$2x^2 - 2tx + t^2 + t - 1 = 0 \quad \dots (*)$$

が異なる 2 つの実数解をもつことである。(*)

の判別式を D とおくと、 $D > 0$ であるから

$$\frac{D}{4} = t^2 - 2(t^2 + t - 1) > 0$$

$$t^2 + 2t - 2 < 0$$

より

$$\boxed{-1 - \sqrt{3} < t < -1 + \sqrt{3}}$$

- (3) (*) の解を α, β ($\alpha < \beta$) とするとき

$$\alpha = \frac{t - \sqrt{\frac{D}{4}}}{2}, \quad \beta = \frac{t + \sqrt{\frac{D}{4}}}{2}$$

であるから

$$\beta - \alpha = \sqrt{\frac{D}{4}}$$

$$= \sqrt{-t^2 - 2t + 2}$$

$$(4) \beta - \alpha = \sqrt{-(t+1)^2 + 3}$$

であり、 $-1 - \sqrt{3} < t < -1 + \sqrt{3}$ より $\beta - \alpha$

は $t = \boxed{-1}$ のときに最大値 $\boxed{\sqrt{3}}$ をとる。

- (5) $t = -1$ のとき

$$C_1: y = x^2 + 2x$$

であるから、 $-1 \leq x \leq 0$ において C_1, C_2 および直線 $x = -1$ と y 軸で囲まれた部分の面積を S

とすると

$$S = \int_{-1}^0 \{(1-x^2) - (x^2+2x)\} dx$$

$$= \int_{-1}^0 (-2x^2 - 2x + 1) dx$$

$$= \left[-\frac{2}{3}x^3 - x^2 + x \right]_{-1}^0$$

$$= \boxed{\frac{4}{3}}$$

